

「ガマゴリうどん」 巨大オブジェ制作

9日のサミットに展示

ディサー
ビス
センター竹島園

蒲郡商議所へ寄贈

蒲郡市竹島町の寿宝会「デイサービスセンター竹島園」の利用者が、新聞紙や毛糸などで「ガマゴリうどん」の巨大オブジェをつくり、6日、蒲郡商工会議所に寄贈した。同商議所青年部は9日にラグーナ蒲郡で開かれる第4回「全国」地うどんサミットで飾るという。

オブジェの大きさはお椀が直径97㌢、

高さ81㌢。箸は13㌢から5センチ。毛糸でうどん、牛乳パックで殻付きアサリ、かまぼこ、紙でワカメやネギを表現した。特産ミニカン2個を並べた箸置きもある。64歳から98歳までの利用者約70人で約100日かけてつくった。

通所者たちは最初、機能回復訓練として白い毛糸で筒状に編み物をしていたが、形状が麺に似ている

た時を思い出した。
アサリやミニカンなど
蒲郡を知つてもらえば」と語つた。
ガマゴリうどんを

開発した蒲郡シティ
セールスプロジェクト
の鈴木寿明代表は
「蒲郡を思う気持ち
が詰まつた作品。サ
ー（安藤聰）



「ガマゴリうどん」のオブジェと利用者たち
=蒲郡商工会議所で